



★ トリビア (英 trivia、「つまらない何の役にもたない雑知識」の意)

★ PC 同好会の都度折々につまらないネタをご提供 (ネタのない時はパスします) ご提供: 北村

日本の人口の時代推移



◎ 日本の人口の古代から現在までの推移を俯瞰する「日本の人口の時代推移」を調べてみます。

★バックナンバー (発行記録) (バックナンバー再発行ご希望の方は北村にお申し出ください)

- 2012年度: No.1: (でんでら唄) No.2: (フルベッキ写真) No.3: (平安京結界図) No.4: (外国地名漢字表記)
- No.5: (苗字ルーツ) No.6: (和製漢語) No.7: (五畿七道) No.8: (皇室旗軍旗艦旗) No.9: (難解姓氏) No.10: (日本の仏教宗派)
- No.11: (陸軍部隊) No.12: (海峡の国際法) No.13: (海軍艦隊) No.14: (鉄道唱歌東海道) No.15: (たこ焼き) No.16: (阪急電車)
- 2013年度: No.17: (アホ・バカ) No.18: (エスカレーター) No.19: (江戸八百八町) No.20: (浪速八百八橋) No.21: (陸軍墓地)
- No.22: (大阪の電車) No.23: (お好み焼き) No.24: (鉄道の広軌と狭軌) No.25: (中華料理) No.26: (旧暦と新暦) No.27: (落語家)
- No.28: (プロ野球球団) No.29: (仏像の色々) No.30: (交通通行の左右) No.31: (50`60 周波数) No.32: (日本の神様) No.33: (元号)
- No.34: (ホルモン・ドテ) No.35: (天皇・皇帝・王) No.36: (歌舞伎の系譜) No.37: (日本のビール) No.38: (映画の歴史)
- No.39: (県名の由来) No.40: (日本酒) 2014年度: No.41: (陶器と磁器) No.42: (三百諸藩) No.43: (焼酎) No.44: (国鉄の本線名)
- No.45: (ユニオンジャック) No.46: (ワイン) No.47: (日本刀) No.48: (世界三大宗教) No.49: (路面電車) No.50: (日本の洋食)
- No.51: (諺報) No.52: (関東と関西) No.53: (米海兵隊) No.54: (支那の語源) No.55: (薩摩と長州) No.56: (共産主義) No.57: (ノルマンディ)
- No.58: (龍馬暗殺) No.59: (憲法制定) No.60: (朝鮮半島分断) No.61: (源氏と平家) No.62: (スパイ・ゾルゲ)
- No.63: (世界の酒) No.64: (東大と京大)
- 2015年度: No.65: (花押) No.66: (西郷隆盛の顔) No.67: (歴史上の国旗) No.68: (おでん) No.69: (幕末の開港) No.70: (寿司)
- No.71: (ゼロ戦と新幹線) No.72: (醤油) No.73: (東京お台場) No.74: (天ぷら) No.75: (元寇) No.76: (参謀本部と軍令部)
- No.77: (蒸気機関車) No.78: (日本の城) No.79: (満洲) No.80: (町奉行) No.81: (本能寺の変) No.82: (旧国名の由来)
- No.83: (軍用機国籍標示) No.84: (日本の貨幣の歴史) No.85: (朝鮮半島) No.86: (シベリア出兵) No.87: (大坂の陣 400 年)
- No.88: (お雑煮)
- 2016年度: No.89: (オレンジ計画) No.90: (すき焼き) No.91: (スエズ・パナマ) No.92: (焼き鳥) No.93: (台湾) No.94: (うなぎ)
- No.95: (太平洋戦争の呼称) No.96: (お茶) No.97: (アングロサクソン) No.98: (コーヒー) No.99: (祇園山笠) No.100: (二十四節気)
- No.101: (海軍乙事件) No.102: (昆布と鰹) No.103: (神戸事件と堺事件) No.104: (居酒屋) No.105: (北海道分割計画) No.106: (井)
- No.107: (陸士と海兵) No.108: (日本の伝統色) No.109: (地下鉄) No.110: (早稲田と慶応) No.111: (幻の大坂運都)
- No.112: (琉球・沖縄)
- 2017年度: No.113: (プロ野球のサイン) No.114: (ふぐ料理) No.115: (暗号) No.116: (肉じゃが) No.117: (右前と左前)
- No.118: (神戸と横浜) No.119: (航空母艦) No.120: (新梅田食道街) No.121: (憲兵) No.122: (欧州アジア系の国) No.123: (忍者)
- No.124: (千島と樺太) No.125: (靖国神社) No.126: (地理上のインドの地名) No.127: (潜水艦) No.128: (うどんとそば)
- No.129: (盧溝橋事件) No.130: (朝鮮と焼肉) No.131: (日清戦争) No.132: (鍋料理) No.133: (日本列島の地政学)
- No.134: (千支と十千十二支) No.135: (日露戦争) No.136: (戒厳令)
- 2018年度: No.137: (漢字) No.138: (ラーメン) No.139: (戦国大名) No.140: (二・二六事件) No.141: (摂政と関白) No.142: (満洲事変)
- No.143: (洛中洛外) No.144: (ロシア革命) No.145: (守護と地頭) No.146: (鳥羽伏見の戦い) No.147: (戊辰戦争)
- No.148: (日本の財閥) No.149: (室町の文化) No.150: (マンホール蓋) No.151: (西南戦争) No.152: (ナンバープレート)
- No.153: (日本と目の丸) No.154: (餃子と焼売) No.155: (曜日の由来) No.156: (文字の縦書き横書き) No.157: (和菓子)
- No.158: (〇〇の守) No.159: (尼崎電話局番 06) No.160: (食品サンプル)
- 2019年度: No.161: (大使館と領事館) No.162: (九州) No.163: (尊王と佐幕) No.164: (銃と砲) No.165: (戦国の旗指物)
- No.166: (左翼と右翼) No.167: (日本の伝統文様) No.168: (カレー) No.169: (日本の甲冑) No.170: (阪急電車 II) No.171: (中国共産党)
- No.172: (家紋) No.173: (関東軍) No.174: (牛肉と豚肉) No.175: (水引) No.176: (シベリア抑留) No.177: (新撰組)
- No.178: (キタとミナミ) No.179: (船名と艦名) No.180: (倭寇) No.181: (軍艦敵傍消失事件) No.182: (六道珍皇寺)
- No.183(東京駅の成立) No.184 (チャップリン暗殺計画)
- 2020年度: No.185: (新幹線ドクターイエロー) No.186: (大化の改新) No.187: (上戸と下戸) No.188: (三重県は何地方)
- No.189: (梅田歩道橋と浅草雷門) No.190: (壬申の乱) No.191: (大阪環状線) No.192: (灘と伏見) No.193: (ブルートレイン)
- No.194: (水軍) No.195: (天王寺七坂) No.196: (東京裁判) No.197: (日本の頑固) No.198: (金と銀) No.199: (ハル・ノート)
- No.200: (天王山と関ヶ原) No.201: (日本四分割統治計画) No.202: (スパイス) No.203: (ものの始まり何でも堺)
- No.204: (城の石垣) No.205: (徳利と盃) No.206: (チーズ) No.207: (ゼロの発見) No.208: (ネクタイ)
- 2021年度: No.209: (年度の始まり) No.210: (東京大阪京都嫌い) No.211: (琵琶湖疏水) No.212: (大阪とソース) No.213: (大日本どけち教)
- No.214: (切子ガラス) No.215: (ノモンハン事件) No.216: (仏教の語源) No.217: (南京攻略戦) No.218: (SP) No.219: (真珠湾攻撃)
- No.220: (物の数え方) No.221: (ミッドウェイ海戦) No.222: (平将門と神田明神) No.223: (ガダルカナル攻防戦) No.224: (孝明天皇毒殺説?)
- No.225: (インパール作戦) No.226: (芸者と芸妓と舞妓) No.227: (沖縄地上戦) No.228: (幕末の金銀流失) No.229: (本土空爆と原爆投下)
- No.230: (明治ゲルマン紙幣) No.231: (北海道の開拓) No.232: (アメリカ合衆国の成り立ち)

(裏面あり)

日本の人口 : (古代よりの人口推移)。

時代 : 西暦 : 人口 : 出来事 :

**縄文期** : 紀元前 1 万年 : 2 万人。 : 平均気温 2℃低かった。  
 紀元前 6 千年 : 10 万人。 : 平均気温 1℃高かった。  
 紀元前 5 千年 : 26 万人。 : 寒冷化が始まる。  
 紀元前 4 千年 : 16 万人。 : 寒冷化。  
 紀元前 3 千年 : 7 万人。 : 平均気温 1℃低くなり栄養不足と大陸からの疾病。



縄文人 縄文住居

**弥生期** : 紀元前 600 年 : 59 万人。 : 稲作農耕の伝来普及。



弥生人 古墳期

**古墳期** : 400 年 : 不明。 :

**飛鳥期** : 600 年 : 不明。 : 飛鳥宮、大和王朝。

**奈良期** : 725 年 : 451 万人。 : 平城京。

**平安期** : 800 年 : 550 万人。 : 平安京。

1150 年 : 684 万人。 : 源平動乱。

**鎌倉期** : 1200 年 : 700 万人。 : 鎌倉幕府。

**室町期** : 1500 年 : 818 万人。 : 室町幕府、戦国期。



飛鳥期 奈良期 平安期

**江戸期** : 1650 年 : 1,750 万人。 :

1720 年 : 3,128 万人。 :

1750 年 : 3,101 万人。 :

1830 年 : 3,248 万人。 :

1850 年 : 3,200 万人。 : ペリー来航、幕末動乱。

**明治期** : 1870 年 : 3,481 万人。 : 明治維新、近代国家・日清、日露戦争。

**大正期** : 1920 年 : 5,596 万人。 : 第一次世界大戦。

**昭和期** : 1930 年 : 6,445 万人。 : 世界恐慌。

1940 年 : 7,193 万人。 : 第二次世界大戦、敗戦。

1950 年 : 8,320 万人。 : 戦後復興。

1960 年 : 9,341 万人。 : 高度経済成長。

1970 年 : 10,372 万人。 : 1 億人越え、オイルショック。

1980 年 : 11,706 万人。 :

**平成期** : 1990 年 : 12,361 万人。 :

2000 年 : 12,697 万人。 :

2005 年 : 12,776 万人。 :

2010 年 : 12,805 万人。 :



鎌倉期 室町期 戦国期 江戸期 江戸期



明治期 大正期



昭和期 昭和戦中 昭和高度成長

◎ : 室町後期～戦国期 : 人口 1,000 万人越え、江戸中期以降 : 人口 3,000 万人で安定推移。

◎ : 大正期～昭和前期 : 人口 5,000～7,000 万人と増加、昭和戦後期 : 人口 10,000 人越え。

各国の人口 : (最多人口の国と最小人口の国)。

日本より多い国 :

中華人民共和国 : 13 億 57 万人。  
 インド : 12 億 24 万人。  
 アメリカ合衆国 : 3 億 14 万人。  
 インドネシア : 2 億 39 万人。  
 ブラジル : 1 億 94 万人。  
 パキスタン : 1 億 73 万人。  
 ナイジェリア : 1 億 58 万人。  
 バングラデシュ : 1 億 48 万人。  
 ロシア連邦 : 1 億 42 万人。

人口 1 千万人以下の先進国 :

ハンガリー : 993 万人。  
 スウェーデン : 937 万人。  
 オーストリア : 839 万人。  
 スイス : 766 万人。  
 イスラエル : 741 万人。  
 デンマーク : 555 万人。  
 フィンランド : 536 万人。  
 ノルウェー : 483 万人。  
 ニューージーランド : 436 万人。

# 兵庫東支部 PC 同好会ご出席付録



No.234 : はなしのトリビア

No.234 : 2022/01/24 B コース(コロナ PC 中止)

★ トリビア (英 trivia、「つまらない何の役にもたない雑知識」の意)

★ PC 同好会の都度折々につまらないネタをご提供 (ネタのない時はパスします) ご提供: 北村

北大路魯山人

北大路魯山人→



◎ 明治～昭和期、かつて、陶芸・料理・美食で一世を風靡した巨人「北大路魯山人」が居ました。

★バックナンバー (発行記録) (バックナンバー再発行ご希望の方は北村にお申し出ください)

- 2012年度: No.1: (でんでら唄) No.2: (フルベッキ写真) No.3: (平安京境界図) No.4: (外国地名漢字表記)  
 No.5: (苗字ルーツ) No.6: (和製漢語) No.7: (五畿七道) No.8: (皇室旗軍旗軍艦旗) No.9: (難解姓氏) No.10: (日本の仏教宗派)  
 No.11: (陸軍部隊) No.12: (海峡の国際法) No.13: (海軍艦隊) No.14: (鉄道唱歌東海道) No.15: (たこ焼き) No.16: (阪急電車)  
 2013年度: No.17: (アホ・バカ) No.18: (エスカレーター) No.19: (江戸八百八町) No.20: (浪速八百八橋) No.21: (陸軍墓地)  
 No.22: (大阪の電車) No.23: (お好み焼き) No.24: (鉄道の広軌と狭軌) No.25: (中華料理) No.26: (旧暦と新暦) No.27: (落語家)  
 No.28: (プロ野球球団) No.29: (仏像の色々) No.30: (交通通行の左右) No.31: (50~60周波数) No.32: (日本の神様) No.33: (元号)  
 No.34: (ホルモン・ドテ) No.35: (天皇・皇帝・王) No.36: (歌舞伎の系譜) No.37: (日本のビール) No.38: (映画の歴史)  
 No.39: (県名の由来) No.40: (日本酒)  
 2014年度: No.41: (陶器と磁器) No.42: (三百諸藩) No.43: (焼酎) No.44: (国鉄の本線名) No.45: (ユニオンジャック)  
 No.46: (ワイン) No.47: (日本刀) No.48: (世界三大宗教) No.49: (路面電車) No.50: (日本の洋食) No.51: (諷報) No.52: (関東  
 と関西) No.53: (米海兵隊) No.54: (支那の語源) No.55: (薩摩と長州) No.56: (共産主義) No.57: (ノルマンディ) No.58: (龍  
 馬暗殺) No.59: (憲法制定) No.60: (朝鮮島半島分断) No.61: (源氏と平家) No.62: (スパイ・ゾルゲ) No.63: (世界の酒) No.64:  
 (東大と京大) 2015年度: No.65: (花押) No.66: (西郷隆盛の顔) No.67: (歴史上の国旗) No.68: (おでん) No.69: (幕末の開港)  
 No.70: (寿司) No.71: (ゼロ戦と新幹線) No.72: (醤油) No.73: (東京お台場) No.74: (天ぷら) No.75: (元寇) No.76: (参謀本部と  
 軍令部) No.77: (蒸気機関車) No.78: (日本の城) No.79: (満洲) No.80: (町奉行) No.81: (本能寺の変) No.82: (旧国名の由来)  
 No.83: (軍用機国籍標示) No.84: (日本の貨幣の歴史) No.85: (朝鮮半島) No.86: (シベリア出兵) No.87: (大坂の陣 400年)  
 No.88: (お雑煮)  
 2016年度: No.89: (オレンジ計画) No.90: (すき焼き) No.91: (スエズ・パナマ) No.92: (焼き鳥) No.93: (台湾) No.94: (うなぎ)  
 No.95: (太平洋戦争の呼称) No.96: (お茶) No.97: (アングロサクソン) No.98: (コーヒー) No.99: (祇園山笠) No.100: (二十四節気)  
 No.101: (海軍乙事件) No.102: (昆布と鰹) No.103: (神戸事件と堺事件) No.104: (居酒屋) No.105: (北海道分割計画) No.106: (井)  
 No.107: (陸士と海兵) No.108: (日本の伝統色) No.109: (地下鉄) No.110: (早稲田と慶応) No.111: (幻の大坂遷都)  
 No.112: (琉球・沖縄)  
 2017年度: No.113: (プロ野球のサイン) No.114: (ふぐ料理) No.115: (暗号) No.116: (肉じゃが) No.117: (右前と左前)  
 No.118: (神戸と横浜) No.119: (航空母艦) No.120: (新梅田食道街) No.121: (憲兵) No.122: (欧州アジア系の国) No.123: (忍者)  
 No.124: (千島と樺太) No.125: (靖国神社) No.126: (地理上のインドの地名) No.127: (潜水艦) No.128: (うどんとそば)  
 No.129: (盧溝橋事件) No.130: (朝鮮と焼肉) No.131: (日清戦争) No.132: (鍋料理) No.133: (日本列島の地政学)  
 No.134: (千支と十千十二支) No.135: (日露戦争) No.136: (戒厳令)  
 2018年度: No.137: (漢字) No.138: (ラーメン) No.139: (戦国大名) No.140: (二・二六事件) No.141: (撰政と閑白) No.142: (満  
 洲事変) No.143: (洛中洛外) No.144: (ロシア革命) No.145: (守護と地頭) No.146: (鳥羽伏見の戦い) No.147: (戊辰戦争)  
 No.148: (日本の財閥) No.149: (室町の文化) No.150: (マンホール蓋) No.151: (西南戦争) No.152: (ナンバープレート)  
 No.153: (日本と日の丸) No.154: (餃子と焼売) No.155: (曜日の由来) No.156: (文字の縦書き横書き) No.157: (和菓子)  
 No.158: (〇〇の守) No.159: (尼崎電話局番 06) No.160: (食品サンプル)  
 2019年度: No.161: (大使館と領事館) No.162: (九州) No.163: (尊王と佐幕) No.164: (銃と砲) No.165: (戦国の旗指物)  
 No.166: (左翼と右翼) No.167: (日本の伝統文様) No.168: (カレー) No.169: (日本の甲冑) No.170: (阪急電車II) No.171: (中国  
 共産党) No.172: (家紋) No.173: (関東軍) No.174: (牛肉と豚肉) No.175: (水引) No.176: (シベリア抑留) No.177: (新撰組)  
 No.178: (キタとミナミ) No.179: (船名と艦名) No.180: (倭寇) No.181: (軍艦敵傍消失事件) No.182: (六道珍皇寺)  
 No.183(東京駅の成立) No.184 (チャップリン暗殺計画)  
 2020年度: No.185: (新幹線ドクターイエロー) No.186: (大化の改新) No.187: (上戸と下戸) No.188: (三重県は何地方)  
 No.189: (梅田歩道橋と浅草雷門) No.190: (壬申の乱) No.191: (大阪環状線) No.192: (灘と伏見) No.193: (ブルートレイン)  
 No.194: (水軍) No.195: (天王寺七坂) No.196: (東京裁判) No.197: (日本の頑固) No.198: (金と銀) No.199: (ハル・ノート)  
 No.200: (天王山と関ヶ原) No.201: (日本四分割統治計画) No.202: (スパイス) No.203: (もの始まり何でも堺)  
 No.204: (城の石垣) No.205: (徳利と盃) No.206: (チーズ) No.207: (ゼロの発見) No.208: (ネクタイ)  
 2021年度: No.209: (年度の始まり) No.210: (東京大阪京都嫌い) No.211: (琵琶湖疏水) No.212: (大阪とソース) No.213: (大日本ドケチ教)  
 No.214: (切子ガラス) No.215: (ノモンハン事件) No.216: (仏教の語源) No.217: (南京攻略戦) No.218: (SP) No.219: (真珠湾攻撃)  
 No.220: (物の数え方) No.221: (ミッドウェイ海戦) No.222: (平将門と神田明神) No.223: (ガダルカナル攻防戦) No.224: (孝明天皇毒殺説?)  
 No.225: (インパール作戦) No.226: (芸者と芸妓と舞妓) No.227: (沖繩地上戦) No.228: (幕末の金銀流失) No.229: (本土空爆と原爆投下)  
 No.230: (明治ゲルマン紙幣) No.231: (北海道の開拓) No.232: (アメリカ合衆国の成り立ち)  
 2022年度: No.233: (日本の人口の時代推移)

(裏面あり)

**北大路魯山人** : (きたおおじろさんじん : 明治 16(1883)年 3 月 23 日 ~ 昭和 34(1959)年 12 月 21 日 : 享年 76 歳 : 本名北大路房次郎・京都府愛宕郡上賀茂村(現京都市北区上賀茂)生まれ)。

**不幸な幼少期** : 父上賀茂神社社家(神社神職世襲の家)北大路清操、母登米(社家西池家)の次男。

◎「**版籍奉還**(明治 2(1869)年旧暦 6 月 17 日・各藩の土地(版)と住民(籍)を朝廷に返還)」により保証されていた**俸禄世襲**が**廃止**され、父清操は東京に職を求めも魯山人誕生 4 ヶ月前に**自殺**、母登米は滋賀坂本村(現大津市坂本)の農家に魯山人を預け**失踪**、農家を紹介した**巡査の養子戸籍**に入り**服部房次郎**となるも、**2 ヶ月後**、養父巡査**服部**が**行方不明**、次いで養母服部巡査の妻が**病死**、巡査服部の**養子夫婦**が義理の弟魯山人の面倒をみる。

◎ **4 歳頃**、**義兄**が精神異常で**死亡**、**義姉**が魯山人を連れ京都の実家に戻るも義姉の母から**虐待**を受け、見かねた近所の人が世話し、京都中京区竹屋町の木版師**福田武造**・フサ夫婦の**養子**となり以降 33 歳まで**福田房次郎**となる。

◎ **10 歳**、梅屋尋常小(現御所南小)卒業、烏丸二条の千坂和薬屋(現千坂漢方薬局)に**丁稚奉公**。

**花開く芸術、美術、料理の才能** : **13 歳**、丁稚奉公を辞め、養父木版師福田の**手伝い**となり、篆刻などの感覚を身に着け、書道コンクールで一位入賞、以降、応募で次々に受賞してゆく。

◎ **14 歳**、入賞で稼いだ賞金で絵筆を買い、西洋看板描きとして活躍す。

◎ **20 歳**、縫箔屋が従兄と名乗り現われ、母登米の所在が判明、**東京**に会いに行くも受け入れられず、そのまま**東京**に残る。

◎ **21 歳**、日本美術協会主催の美術展覧会に出品の書「千字文」が一等入賞す。

◎ **22 歳**、書家**岡本可亨**(漫画家岡本一平の父・洋画家岡本太郎の祖父)の**内弟子**となる。

◎ **24 歳**、**帝国生命保険**(現朝日生命保険)の**文書掛**(係)となる。

◎ **25 歳**、**結婚**、**翌年**、**長男**誕生、書家の仕事は繁盛、収入は書道具、骨董品、典籍、外食に注ぎ込む。

◎ **27 歳**、**朝鮮京城**(現ソウル)、**上海**に滞在、**翌年**帰国、滋賀**長浜**の素封家**河路豊吉**の食客となり、竹内栖鳳、土田麦僊等日本画家の巨匠らと交わり名を高め、**33 歳**、号を**北大路魯山人**とし、**京都**、**金沢**の素封家の食客を転々とし、食器、美食への見識を深める。

◎ **34 歳**、**便利堂**(美術古美術印刷 : 京都市中京区新町通竹屋町)中村竹四郎と古美術**大雅堂**を共同経営、**38 歳**、会員制「**美食倶楽部**(大雅堂二階)」を発足、食器を自作、自ら料理を造る。

◎ **42 歳**、会員制高級料亭「**星岡茶寮**(東京永田町・大阪豊中曾根(共に昭和 20 年空襲焼失))」を開設す。

◎ **昭和 34(1959)年 12 月 21 日**、横浜医科大学で**死去**(肝硬変 : 享年 76 歳)。

**北大路魯山人作品** : (北大路魯山人の作品は、骨董品として最高の価格を有す)。

**星岡茶寮料理** :



**陶芸** :



**篆刻** :



**書** :



**古美術骨董の大路魯山人作品** : (北大路魯山人は、生涯多くの作品を創作しましたが、それらは多くの料亭、愛好家、収集家により、美術・骨董の世界で高価な価格で存在します)。

**大路魯山人の評価** : (北大路魯山人は、幼少よりの環境からか、生涯を通して人柄性格は、傲慢・唯我独尊・不遜・尊大、を貫きました)。

# 兵庫東支部 PC 同好会ご出席付録



No.235 : はなしのトリビア

No.235 : 2022/02/14 A コース(コロナPC中止)

★ トリビア (英 trivia、「つまらない何の役にも立たない雑知識」の意)

★ PC 同好会の都度折々につまらないネタをご提供 (ネタのない時はパスします) ご提供 : 北村

一休さん



◎ 頓知の名人として説話に有名な室町期の禅僧一休宗純こと「一休さん」の実像を訪ねます。

★ バックナンバー (発行記録) (バックナンバー再発行ご希望の方は北村にお申し出ください)

- 2012年度 : No.1 : (でんでら唄) No.2 : (フルベッキ写真) No.3 : (平安京境界図) No.4 : (外国地名漢字表記)
- No.5 : (苗字ルーツ) No.6 : (和製漢語) No.7 : (五畿七道) No.8 : (皇室旗軍旗艦旗) No.9 : (難解姓氏) No.10 : (日本の仏教宗派)
- No.11 : (陸軍部隊) No.12 : (海峡の国際法) No.13 : (海軍艦隊) No.14 : (鉄道唱歌東海道) No.15 : (たこ焼き) No.16 : (阪急電車)
- 2013年度 : No.17 : (アホ・バカ) No.18 : (エスカレーター) No.19 : (江戸八百八町) No.20 : (浪速八百八橋) No.21 : (陸軍墓地)
- No.22 : (大阪の電車) No.23 : (お好み焼き) No.24 : (鉄道の広軌と狭軌) No.25 : (中華料理) No.26 : (旧暦と新暦) No.27 : (落語家)
- No.28 : (プロ野球球団) No.29 : (仏像の色々) No.30 : (交通通行の左右) No.31 : (50~60周波数) No.32 : (日本の神様) No.33 : (元号)
- No.34 : (ホルモン・ドテ) No.35 : (天皇・皇帝・王) No.36 : (歌舞伎の系譜) No.37 : (日本のビール) No.38 : (映画の歴史)
- No.39 : (県名の由来) No.40 : (日本酒) 2014年度 : No.41 : (陶器と磁器) No.42 : (三百諸藩) No.43 : (焼酎) No.44 : (国鉄の本線名)
- No.45 : (ユニオンジャック) No.46 : (ワイン) No.47 : (日本刀) No.48 : (世界三大宗教) No.49 : (路面電車) No.50 : (日本の洋食)
- No.51 : (諺報) No.52 : (関東と関西) No.53 : (米海兵隊) No.54 : (支那の語源) No.55 : (薩摩と長州) No.56 : (共産主義) No.57 : (ノルマンディ)
- No.58 : (龍馬暗殺) No.59 : (憲法制定) No.60 : (朝鮮半島分断) No.61 : (源氏と平家) No.62 : (スパイ・ゾルゲ) No.63 : (世界の酒) No.64 : (東大と京大)
- 2015年度 : No.65 : (花押) No.66 : (西郷隆盛の顔) No.67 : (歴史上の国旗) No.68 : (おでん) No.69 : (幕末の開港) No.70 : (寿司)
- No.71 : (ゼロ戦と新幹線) No.72 : (醤油) No.73 : (東京お台場) No.74 : (天ぷら) No.75 : (元寇) No.76 : (参謀本部と軍令部)
- No.77 : (蒸気機関車) No.78 : (日本の城) No.79 : (満洲) No.80 : (町奉行) No.81 : (本能寺の変) No.82 : (旧国名の由来)
- No.83 : (軍用機国籍標示) No.84 : (日本の貨幣の歴史) No.85 : (朝鮮半島) No.86 : (シベリア出兵) No.87 : (大坂の陣 400 年)
- No.88 : (お雑煮)
- 2016年度 : No.89 : (オレンジ計画) No.90 : (すき焼き) No.91 : (スエズ・パナマ) No.92 : (焼き鳥) No.93 : (台湾) No.94 : (うなぎ)
- No.95 : (太平洋戦争の呼称) No.96 : (お茶) No.97 : (アングロサクソン) No.98 : (コーヒー) No.99 : (祇園山笠) No.100 : (二十四節気)
- No.101 : (海軍乙事件) No.102 : (昆布と鰹) No.103 : (神戸事件と堺事件) No.104 : (居酒屋) No.105 : (北海道分割計画) No.106 : (井)
- No.107 : (陸士と海兵) No.108 : (日本の伝統色) No.109 : (地下鉄) No.110 : (早稲田と慶応) No.111 : (幻の大坂遷都)
- No.112 : (琉球・沖縄)
- 2017年度 : No.113 : (プロ野球のサイン) No.114 : (ふぐ料理) No.115 : (暗号) No.116 : (肉じゃが) No.117 : (右前と左前)
- No.118 : (神戸と横浜) No.119 : (航空母艦) No.120 : (新梅田食道街) No.121 : (憲兵) No.122 : (欧州アジア系の国) No.123 : (忍者)
- No.124 : (千島と樺太) No.125 : (靖国神社) No.126 : (地理上のインドの地名) No.127 : (潜水艦) No.128 : (うどんとそば)
- No.129 : (盧溝橋事件) No.130 : (朝鮮と焼肉) No.131 : (日清戦争) No.132 : (鍋料理) No.133 : (日本列島の地政学)
- No.134 : (千支と十千十二支) No.135 : (日露戦争) No.136 : (戒厳令)
- 2018年度 : No.137 : (漢字) No.138 : (ラーメン) No.139 : (戦国大名) No.140 : (二・二六事件) No.141 : (摂政と関白) No.142 : (満洲事変)
- No.143 : (洛中洛外) No.144 : (ロシア革命) No.145 : (守護と地頭) No.146 : (鳥羽伏見の戦い) No.147 : (戊辰戦争)
- No.148 : (日本の財閥) No.149 : (室町の文化) No.150 : (マンホール蓋) No.151 : (西南戦争) No.152 : (ナンバープレート)
- No.153 : (日本と日の丸) No.154 : (餃子と焼売) No.155 : (曜日の由来) No.156 : (文字の縦書き横書き) No.157 : (和菓子)
- No.158 : (〇〇の守) No.159 : (尼崎電話局番 06) No.160 : (食品サンプル)
- 2019年度 : No.161 : (大使館と領事館) No.162 : (九州) No.163 : (尊王と佐幕) No.164 : (銃と砲) No.165 : (戦国の旗指物)
- No.166 : (左翼と右翼) No.167 : (日本の伝統文様) No.168 : (カレー) No.169 : (日本の甲冑) No.170 : (阪急電車 II) No.171 : (中国共産党)
- No.172 : (家紋) No.173 : (関東軍) No.174 : (牛肉と豚肉) No.175 : (水引) No.176 : (シベリア抑留) No.177 : (新撰組)
- No.178 : (キタとミナミ) No.179 : (船名と艦名) No.180 : (倭寇) No.181 : (軍艦岬傍消失事件) No.182 : (六道珍皇寺)
- No.183 (東京駅の成立) No.184 (チャップリン暗殺計画)
- 2020年度 : No.185 : (新幹線ドクターイエロー) No.186 : (大化の改新) No.187 : (上戸と下戸) No.188 : (三重県は何地方)
- No.189 : (梅田歩道橋と浅草雷門) No.190 : (壬申の乱) No.191 : (大阪環状線) No.192 : (灘と伏見) No.193 : (ブルートレイン)
- No.194 : (水軍) No.195 : (天王寺七坂) No.196 : (東京裁判) No.197 : (日本の頑固) No.198 : (金と銀) No.199 : (ハル・ノート)
- No.200 : (天王山と関ヶ原) No.201 : (日本四分割統治計画) No.202 : (スパイス) No.203 : (ものの始まり何でも堺)
- No.204 : (城の石垣) No.205 : (徳利と盃) No.206 : (チーズ) No.207 : (ゼロの発見) No.208 : (ネクタイ)
- 2021年度 : No.209 : (年度の始まり) No.210 : (東京大阪京都嫌い) No.211 : (琵琶湖疏水) No.212 : (大阪とソース) No.213 : (大日本ドケチ教)
- No.214 : (切子ガラス) No.215 : (ノモンハン事件) No.216 : (仏教の語源) No.217 : (南京攻略戦) No.218 : (SP) No.219 : (真珠湾攻撃)
- No.220 : (物の教え方) No.221 : (ミッドウェイ海戦) No.222 : (平将門と神田明神) No.223 : (ガダルカナル攻防戦) No.224 : (孝明天皇毒殺説?)
- No.225 : (インパール作戦) No.226 : (芸者と芸妓と舞妓) No.227 : (沖縄地上戦) No.228 : (幕末の金銀流失) No.229 : (本土空爆と原爆投下)
- No.230 : (明治ゲルマン紙幣) No.231 : (北海道の開拓) No.232 : (アメリカ合衆国の成り立ち)
- 2022年度 : No.233 : (日本の人口の時代推移) No.234 : (北大路魯山人)

(裏面あり)

**一休宗純**：(臨濟宗大徳寺派僧侶：明徳 5(1394)年旧暦 1 月 1 日～文明 13(1481)年旧暦 11 月 21 日、享年 87 歳)。

**生涯**：

**出生**：出生地は京都、幼名千菊丸、出自は後小松天皇(第 100 代・北朝第 6 代)ご落胤説が有力 母は藤原氏で南朝高官の血筋、讒言され宮中を追われ民間に入り一休を生む。



一休画像 後小松天皇

**仏門**：6 歳、京都安国寺(現存せず)の僧像外集鑑(ぞうがい・しゅうかん)に入門受戒、周建と名付けられ、宗純(宗順とも)と号す。

**才能**：詩才に優れ、13 歳で漢詩「長門春草」、15 歳で漢詩「春衣宿花」を作り洛中の評判を得、17 歳、謙翁宗為(けんおう・そうい)の弟子となり、21 歳、師謙翁が死去、一休は自殺未遂を起こす。

22 歳、京都大徳寺の高僧華叟宗曇(かそう・そうどん)の弟子となる。

**一休**：師の華叟宗曇の公案(禅問答の問い)「洞山三頓の棒」に対し、「有漏路(うるじ：迷い煩惱の世界)より、無漏路(むろじ：悟りの世界)へ帰る一休み、雨ふらば降り、風ふかば吹け」と答え、『一休』の道号を授かる。



大徳寺山門

**風狂**：27 歳、大悟(悟り)し、師華叟宗曇の「印可状(悟りの認可)」を辞退、大徳寺を去り、以降、『詩・狂歌・書画』の生活を送る。



真珠庵

**住持**：54 歳、後土御門天皇(第 103 代)の勅命により大徳寺の住持に任ぜられ、塔頭の真珠庵を創建するも寺には住まず、草庵「酬恩庵(しゅうおんあん：別名一休寺：京都府京田辺市)」を結び、天皇にも親しく接せられ、民衆にも慕われる。

**死去**：87 歳、酬恩庵にて死去す。



酬恩庵

**墓所**：酬恩庵(別名：一休寺)の一休墓所は、宮内庁が後小松天皇ご落胤説に基づき「陵墓(皇室の墳墓：陵=天皇・皇后の墓：墓=その他の皇族)」として管理している。

**頓知話**：(江戸期元禄年間、『一休咄(作者不詳)』が作られ、一休の事績、説話などが表される)。



一休墓所 墓所門の菊ご紋

**屏風の虎退治**：足利義満(室町第三代将軍)が、「屏風絵の虎を退治せよ」と命ずるも、「捕まえるので虎を屏風から出して下さい」と切り返し、義満を感服させた。

**この橋渡るべからず**：ある店の前の橋に「このはしわたるべからず」と書かれていたが、「この端(はし)わたるべからず」と、「橋の真ん中を堂々と渡った」。



一休墓所の宮内庁表示  
(後小松天皇皇子・宗純王墓と表記)

**一休が遺した言葉**：

- ◎：門松は冥土の旅の一里塚めでたくもありめでたくもなし。
- ◎：花は桜木、人は武士、柱は桧、魚は鯛、小袖は紅葉、花はみよしの(吉野)。
- ◎：釈迦といふ悪戯ものが世に出でて多くの人を迷わすかな。
- ◎：南無釈迦じゃ娑婆じゃ地獄じゃ苦じゃ楽じゃ、どうじゃこうじゃと云うが愚かじゃ。

**一休の逸話**：(一見奇抜な言動は、権威化、形骸化した仏教への批判、警鐘でもあった)。

- ◎：印可状や由来ある文書などを火中に投じた。
- ◎：仏教や禅律で禁じられている飲酒、肉食をした。
- ◎：木製刀身の朱鞘の太刀を差し、風変わりな格好で町を歩き回った。
- ◎：親交のあった本願寺門主蓮如の持念仏阿弥陀如来像を枕にして昼寝をす。
- ◎：正月に杖の頭に髑髏(どくろ)をしつらえ「ご用心、ご用心」と練り歩く。



**善哉**：小豆汁を食し「善(よき)哉(かな)」と云い、今日の「善哉(ぜんざい)」の語源となる。

# 兵庫東支部 PC 同好会ご出席付録



## No.236 : はなしのトリビア

No.236 : 2022/02/28 B コース(コロナPC中止)

★トリビア (英 trivia、「つまらない何の役にもたない雑知識」の意)

★PC同好会の都度折々につまらないネタをご提供 (ネタのない時はパスします) ご提供: 北村

### 古地図と武鑑



◎江戸期、江戸、大坂、京などの都市図と参勤交代の諸侯を記す「古地図と武鑑」を見ます。

★バックナンバー (発行記録) (バックナンバー再発行ご希望の方は北村にお申し出ください)

- 2012年度: No.1: (でんでら唄) No.2: (フルベッキ写真) No.3: (平安京境界図) No.4: (外国地名漢字表記)  
 No.5: (苗字ルーツ) No.6: (和製漢語) No.7: (五畿七道) No.8: (皇室旗軍旗軍艦旗) No.9: (難解姓氏) No.10: (日本の仏教宗派)  
 No.11: (陸軍部隊) No.12: (海峡の国際法) No.13: (海軍艦隊) No.14: (鉄道唱歌東海道) No.15: (たこ焼き) No.16: (阪急電車)
- 2013年度: No.17: (アホ・バカ) No.18: (エスカレーター) No.19: (江戸八百八町) No.20: (浪速八百八橋) No.21: (陸軍墓地)  
 No.22: (大阪の電車) No.23: (お好み焼き) No.24: (鉄道の広軌と狭軌) No.25: (中華料理) No.26: (旧暦と新暦) No.27: (落語家)  
 No.28: (プロ野球球団) No.29: (仏像の色々) No.30: (交通通行の左右) No.31: (50°60周波数) No.32: (日本の神様) No.33: (元号)  
 No.34: (ホルモン・ドテ) No.35: (天皇・皇帝・王) No.36: (歌舞伎の系譜) No.37: (日本のビール) No.38: (映画の歴史)  
 No.39: (県名の由来) No.40: (日本酒) 2014年度: No.41: (陶器と磁器) No.42: (三百諸藩) No.43: (焼酎) No.44: (国鉄の本線名)  
 No.45: (ユニオンジャック) No.46: (ワイン) No.47: (日本刀) No.48: (世界三大宗教) No.49: (路面電車) No.50: (日本の洋食)  
 No.51: (諜報) No.52: (関東と関西) No.53: (米海兵隊) No.54: (支那の語源) No.55: (薩摩と長州) No.56: (共産主義) No.57: (ノルマンディ) No.58: (龍馬暗殺) No.59: (憲法制定) No.60: (朝鮮島半島分断) No.61: (源氏と平家) No.62: (スパイ・ゾルゲ)  
 No.63: (世界の酒) No.64: (東大と京大)
- 2015年度: No.65: (花押) No.66: (西郷隆盛の顔) No.67: (歴史上の国旗) No.68: (おでん) No.69: (幕末の開港) No.70: (寿司)  
 No.71: (ゼロ戦と新幹線) No.72: (醤油) No.73: (東京お台場) No.74: (天ぷら) No.75: (元寇) No.76: (参謀本部と軍令部)  
 No.77: (蒸気機関車) No.78: (日本の城) No.79: (満洲) No.80: (町奉行) No.81: (本能寺の変) No.82: (旧国名の由来) No.83: (軍用機国籍標示) No.84: (日本の貨幣の歴史) No.85: (朝鮮半島) No.86: (シベリア出兵) No.87: (大坂の陣 400年) No.88: (お雑煮)
- 2016年度: No.89: (オレンジ計画) No.90: (すき焼き) No.91: (スエズ・パナマ) No.92: (焼き鳥) No.93: (台湾) No.94: (うなぎ)  
 No.95: (太平洋戦争の呼称) No.96: (お茶) No.97: (アングロサクソン) No.98: (コーヒー) No.99: (祇園山笠) No.100: (二十四節気)  
 No.101: (海軍乙事件) No.102: (昆布と鰹) No.103: (神戸事件と堺事件) No.104: (居酒屋) No.105: (北海道分割計画) No.106: (井)  
 No.107: (陸士と海兵) No.108: (日本の伝統色) No.109: (地下鉄) No.110: (早稲田と慶応) No.111: (幻の大阪遷都)  
 No.112: (琉球・沖縄)
- 2017年度: No.113: (プロ野球のサイン) No.114: (ふぐ料理) No.115: (暗号) No.116: (肉じゃが) No.117: (右前と左前)  
 No.118: (神戸と横浜) No.119: (航空母艦) No.120: (新梅田食道街) No.121: (憲兵) No.122: (欧州アジア系の国) No.123: (忍者)  
 No.124: (千島と樺太) No.125: (靖国神社) No.126: (地理上のインドの地名) No.127: (潜水艦) No.128: (うどんとそば)  
 No.129: (盧溝橋事件) No.130: (朝鮮と焼肉) No.131: (日清戦争) No.132: (鍋料理) No.133: (日本列島の地政学)  
 No.134: (干支と十干十二支) No.135: (日露戦争) No.136: (戒厳令)
- 2018年度: No.137: (漢字) No.138: (ラーメン) No.139: (戦国大名) No.140: (二・二六事件) No.141: (摂政と関白) No.142: (満洲事変) No.143: (洛中洛外) No.144: (ロシア革命) No.145: (守護と地頭) No.146: (鳥羽伏見の戦い) No.147: (戊辰戦争)  
 No.148: (日本の財閥) No.149: (室町の文化) No.150: (マンホール蓋) No.151: (西南戦争) No.152: (ナンバープレート)  
 No.153: (日本と日の丸) No.154: (餃子と焼売) No.155: (曜日の由来) No.156: (文字の縦書き横書き) No.157: (和菓子)  
 No.158: (〇〇の守) No.159: (尼崎電話局番 06) No.160: (食品サンプル)
- 2019年度: No.161: (大使館と領事館) No.162: (九州) No.163: (尊王と佐幕) No.164: (銃と砲) No.165: (戦国の旗指物)  
 No.166: (左翼と右翼) No.167: (日本の伝統文様) No.168: (カレー) No.169: (日本の甲冑) No.170: (阪急電車II) No.171: (中国共産党) No.172: (家紋) No.173: (関東軍) No.174: (牛肉と豚肉) No.175: (水引) No.176: (シベリア抑留) No.177: (新撰組)  
 No.178: (キタとミナミ) No.179: (船名と艦名) No.180: (倭寇) No.181: (軍艦叡傍消失事件) No.182: (六道珍皇寺)  
 No.183 (東京駅の成立) No.184 (チャップリン暗殺計画)
- 2020年度: No.185: (新幹線ドクターイエロー) No.186: (大化の改新) No.187: (上戸と下戸) No.188: (三重県は何地方)  
 No.189: (梅田歩道橋と浅草雷門) No.190: (壬申の乱) No.191: (大阪環状線) No.192: (灘と伏見) No.193: (ブルートレイン)  
 No.194: (水軍) No.195: (天王寺七坂) No.196: (東京裁判) No.197: (日本の頑固) No.198: (金と銀) No.199: (ハル・ノート)  
 No.200: (天王山と関ヶ原) No.201: (日本四分割統治計画) No.202: (スペース) No.203: (もの始まり何でも堺)  
 No.204: (城の石垣) No.205: (徳利と盃) No.206: (チーズ) No.207: (ゼロの発見) No.208: (ネクタイ)
- 2021年度: No.209: (年度の始まり) No.210: (東京大阪京都嫌い) No.211: (琵琶湖疏水) No.212: (大阪とソース) No.213: (大日本ドケチ教)  
 No.214: (切子ガラス) No.215: (ノモンハン事件) No.216: (仏教の語源) No.217: (南京攻略戦) No.218: (SP) No.219: (真珠湾攻撃)  
 No.220: (物の数え方) No.221: (ミッドウェイ海戦) No.222: (平将門と神田明神) No.223: (ガダルカナル攻防戦) No.224: (孝明天皇毒殺説?)  
 No.225: (インパール作戦) No.226: (芸者と芸妓と舞妓) No.227: (沖縄地上戦) No.228: (幕末の金銀流失) No.229: (本土空爆と原爆投下)  
 No.230: (明治ゲルマン紙幣) No.231: (北海道の開拓) No.232: (アメリカ合衆国の成り立ち)
- 2022年度: No.233: (日本の人口の時代推移) No.234: (北大路魯山人) No.235: (一休さん)

(裏面あり)

**古地図** : (手書きによって作成され、木版により印刷された都市地図で、絵地図とは異なる)。

**古地図** : 一般には古い時代の地図、日本では、特に江戸期の都市の建物屋敷を描いた地図(切絵図とも云う)。

**江戸** : 武士の居住が圧倒的に多く、全国諸藩の江戸屋敷が存在した(上・中・下、三屋敷あり)。

**大坂** : 武士の居住は少なかったが、堂島河岸には全国諸藩の蔵屋敷(米の換金)が存在した。

**京** : 公家屋敷と全国諸藩の京都屋敷が存在した。

**古地図の見方** :

**江戸版元** : 江戸古地図(切絵図)の木版版元は、

尾張屋(金鱗堂)・美濃屋(吉文字屋)・近江屋(近吾堂)・平野屋、の四版元があった。

**色分け** :

白 = 武家屋敷 : 赤 = 寺社 : 鼠 = 町家 : 黄 = 道路・橋 :  
青 = 川・堀・池 : 緑 = 山林・土手・田畑 :

**見方** :

A(左)・B(右)→

家紋 = 大名上屋敷(常住公邸、登城のため江戸城周辺に存在(A))。

■印 = 大名中屋敷(■印が表門、外堀内側に存在(B))。

●印 = 大名下屋敷(●印が表門、郊外に存在(C))。

表門 = 名前の頭方向(上部)が屋敷表門(D)。 C(左)・D(右)→



江戸城周辺



江戸赤坂溜池周辺



江戸浅草周辺



大坂



京禁裏(御所)周辺

**絵地図** : 絵によっておおまかに、又は立体的に描いた地図。

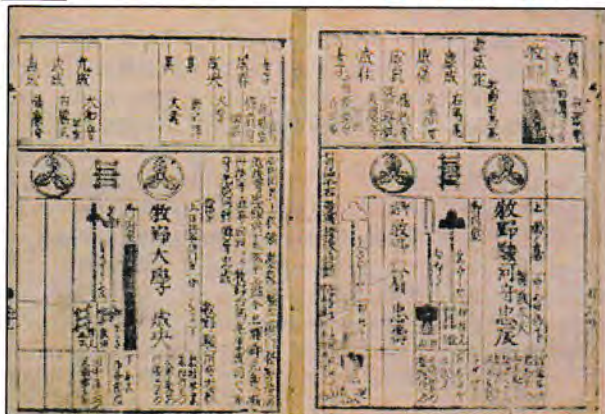
水戸街道絵図→



**武鑑** : (江戸期、緒大名・幕府高官の氏名、屋敷、領地、石高、家紋などを記した年鑑、多数の武家が集まる江戸で、大名・武家を識別する実用書として重宝される)。

**種類** : 大名武鑑、旗本(幕臣)武鑑、の二種があった。

**版元** : 江戸最大の書物問屋「須原屋茂兵衛」がほぼ独占的に出版し、大坂、京でも販売された。



宝永 7(1710)年版武鑑 : 越後長岡藩牧野忠辰の部分



古地図江戸大手門周辺(拡大)



# 兵庫東支部 PC 同好会ご出席付録



## No.237 : はなしのトリビア

No.237 : 2022/03/14 A コース(コロナPC中止)

★ トリビア (英 trivia、「つまらない何の役にも立たない雑知識」の意)

★ PC 同好会の都度折々につまらないネタをご提供 (ネタのない時はパスします) ご提供 : 北村

### 適塾

大阪大学医学部附属病院→



◎ 江戸後期、蘭学と西洋医学の発祥の場となった、大阪(大坂)北浜の「適塾」を見ます。

★バックナンバー (発行記録) (バックナンバー再発行ご希望の方は北村にお申し出ください)

- 2012年度 : No.1 : (でんでら唄) No.2 : (フルベッキ写真) No.3 : (平安京結界図) No.4 : (外国地名漢字表記)
- No.5 : (苗字ルーツ) No.6 : (和製漢語) No.7 : (五畿七道) No.8 : (皇室旗軍旗軍艦旗) No.9 : (難解姓氏) No.10 : (日本の仏教宗派)
- No.11 : (陸軍部隊) No.12 : (海峡の国際法) No.13 : (海軍艦隊) No.14 : (鉄道唱歌東海道) No.15 : (たこ焼き) No.16 : (阪急電車)
- 2013年度 : No.17 : (アホ・バカ) No.18 : (エスカレーター) No.19 : (江戸八百八町) No.20 : (浪速八百八橋) No.21 : (陸軍墓地)
- No.22 : (大阪の電車) No.23 : (お好み焼き) No.24 : (鉄道の広軌と狭軌) No.25 : (中華料理) No.26 : (旧暦と新暦) No.27 : (落語家)
- No.28 : (プロ野球球団) No.29 : (仏像の色々) No.30 : (交通通行の左右) No.31 : (50°60周波数) No.32 : (日本の神様) No.33 : (元号)
- No.34 : (ホルモン・ドテ) No.35 : (天皇・皇帝・王) No.36 : (歌舞伎の系譜) No.37 : (日本のビール) No.38 : (映画の歴史)
- No.39 : (県名の由来) No.40 : (日本酒) 2014年度 : No.41 : (陶器と磁器) No.42 : (三百諸藩) No.43 : (焼酎) No.44 : (国鉄の本線名)
- No.45 : (ユニオンジャック) No.46 : (ワイン) No.47 : (日本刀) No.48 : (世界三大宗教) No.49 : (路面電車) No.50 : (日本の洋食)
- No.51 : (諜報) No.52 : (関東と関西) No.53 : (米海兵隊) No.54 : (支那の語源) No.55 : (薩摩と長州) No.56 : (共産主義) No.57 : (ノルマンディ)
- No.58 : (龍馬暗殺) No.59 : (憲法制定) No.60 : (朝鮮島半島分断) No.61 : (源氏と平家) No.62 : (スパイ・ゾルゲ) No.63 : (世界の酒) No.64 : (東大と京大)
- 2015年度 : No.65 : (花押) No.66 : (西郷隆盛の顔) No.67 : (歴史上の国旗) No.68 : (おでん) No.69 : (幕末の開港) No.70 : (寿司)
- No.71 : (ゼロ戦と新幹線) No.72 : (醤油) No.73 : (東京お台場) No.74 : (天ぷら) No.75 : (元寇) No.76 : (参謀本部と軍令部)
- No.77 : (蒸気機関車) No.78 : (日本の城) No.79 : (満洲) No.80 : (町奉行) No.81 : (本能寺の変) No.82 : (旧国名の由来)
- No.83 : (軍用機国籍標示) No.84 : (日本の貨幣の歴史) No.85 : (朝鮮半島) No.86 : (シベリア出兵) No.87 : (大坂の陣 400 年)
- No.88 : (お雑煮)
- 2016年度 : No.89 : (オレンジ計画) No.90 : (すき焼き) No.91 : (スエズ・パナマ) No.92 : (焼き鳥) No.93 : (台湾) No.94 : (うなぎ)
- No.95 : (太平洋戦争の呼称) No.96 : (お茶) No.97 : (アングロサクソン) No.98 : (コーヒー) No.99 : (祇園山笠) No.100 : (二十四節気)
- No.101 : (海軍乙事件) No.102 : (昆布と鰹) No.103 : (神戸事件と堺事件) No.104 : (居酒屋) No.105 : (北海道分割計画) No.106 : (井)
- No.107 : (陸士と海兵) No.108 : (日本の伝統色) No.109 : (地下鉄) No.110 : (早稲田と慶応) No.111 : (幻の大坂遷都)
- No.112 : (琉球・沖縄)
- 2017年度 : No.113 : (プロ野球のサイン) No.114 : (ふぐ料理) No.115 : (暗号) No.116 : (肉じゃが) No.117 : (右前と左前)
- No.118 : (神戸と横浜) No.119 : (航空母艦) No.120 : (新梅田食道街) No.121 : (憲兵) No.122 : (欧州アジア系の国) No.123 : (忍者)
- No.124 : (千島と樺太) No.125 : (靖国神社) No.126 : (地理上のインドの地名) No.127 : (潜水艦) No.128 : (うどんとそば)
- No.129 : (盧溝橋事件) No.130 : (朝鮮と焼肉) No.131 : (日清戦争) No.132 : (鍋料理) No.133 : (日本列島の地政学)
- No.134 : (干支と十干十二支) No.135 : (日露戦争) No.136 : (戒厳令)
- 2018年度 : No.137 : (漢字) No.138 : (ラーメン) No.139 : (戦国大名) No.140 : (二・二六事件) No.141 : (摂政と関白) No.142 : (満洲事変)
- No.143 : (洛中洛外) No.144 : (ロシア革命) No.145 : (守護と地頭) No.146 : (鳥羽伏見の戦い) No.147 : (戊辰戦争)
- No.148 : (日本の財閥) No.149 : (室町の文化) No.150 : (マンホール蓋) No.151 : (西南戦争) No.152 : (ナンバープレート)
- No.153 : (日本と日の丸) No.154 : (餃子と焼売) No.155 : (曜日の由来) No.156 : (文字の縦書き横書き) No.157 : (和菓子)
- No.158 : (〇〇の守) No.159 : (尼崎電話局番 06) No.160 : (食品サンプル)
- 2019年度 : No.161 : (大使館と領事館) No.162 : (九州) No.163 : (尊王と佐幕) No.164 : (銃と砲) No.165 : (戦国の旗指物)
- No.166 : (左翼と右翼) No.167 : (日本の伝統文様) No.168 : (カレー) No.169 : (日本の甲冑) No.170 : (阪急電車 II) No.171 : (中国共産党)
- No.172 : (家紋) No.173 : (関東軍) No.174 : (牛肉と豚肉) No.175 : (水引) No.176 : (シベリア抑留) No.177 : (新撰組)
- No.178 : (キタとミナミ) No.179 : (船名と艦名) No.180 : (倭寇) No.181 : (軍艦畷傍消失事件) No.182 : (六道珍皇寺)
- No.183 (東京駅の成立) No.184 (チャップリン暗殺計画)
- 2020年度 : No.185 : (新幹線ドクターイエロー) No.186 : (大化の改新) No.187 : (上戸と下戸) No.188 : (三重県は何地方)
- No.189 : (梅田歩道橋と浅草雷門) No.190 : (壬申の乱) No.191 : (大阪環状線) No.192 : (灘と伏見) No.193 : (ブルートレイン)
- No.194 : (水軍) No.195 : (天王寺七坂) No.196 : (東京裁判) No.197 : (日本の頑固) No.198 : (金と銀) No.199 : (ハル・ノート)
- No.200 : (天王山と関ヶ原) No.201 : (日本四分割統治計画) No.202 : (スパイス) No.203 : (ものの始まり何でも堺)
- No.204 : (城の石垣) No.205 : (徳利と盃) No.206 : (チーズ) No.207 : (ゼロの発見) No.208 : (ネクタイ)
- 2021年度 : No.209 : (年度の始まり) No.210 : (東京大阪京都嫌い) No.211 : (琵琶湖疏水) No.212 : (大阪とソース) No.213 : (大日本ドケチ教)
- No.214 : (切子ガラス) No.215 : (ノモンハン事件) No.216 : (仏教の語源) No.217 : (南京攻略戦) No.218 : (SP) No.219 : (真珠湾攻撃)
- No.220 : (物の教え方) No.221 : (ミッドウェイ海戦) No.222 : (平将門と神田明神) No.223 : (ガダルカナル攻防戦) No.224 : (孝明天皇毒殺説?)
- No.225 : (インパール作戦) No.226 : (芸者と芸妓と舞妓) No.227 : (沖縄地上戦) No.228 : (幕末の金銀流失) No.229 : (本土空爆と原爆投下)
- No.230 : (明治ゲルマン紙幣) No.231 : (北海道の開拓) No.232 : (アメリカ合衆国の成り立ち)
- 2022年度 : No.233 : (日本の人口の時代推移) No.234 : (北大路魯山人) No.235 : (一休さん) No.236 : (古地図と武鑑) (裏面あり)

**適塾**：(てきじゅく：正式名・滴々齋塾、滴々塾、大阪市中央区北浜3丁目3-8)。

**緒方洪庵**：文化7(1810)年～文久3(1863)年：備中(現岡山県中部)足守藩士、蘭学者・医師、天然痘治療に貢献、適塾(大阪大学の祖)を開設、多くの人材を輩出し、我が国近代医学の祖と云われる、名は惟章(これあき)、号は洪庵・滴々齋。



緒方洪庵

**開設と閉鎖**：

- ◎：江戸後期、天保9(1836)年、蘭学者・医者**の緒方洪庵**が大坂船場津村東之町(現中央区瓦町三丁目)に蘭学塾を開く。
- ◎：弘化2(1845)年、大坂船場過書町(現中央区北浜三丁目)に移転。
- ◎：文久2(1862)年、**緒方洪庵**が江戸幕府奥医師、西洋学問所頭取となり、江戸に移住、適塾は**緒方拙斎**(洪庵養子)が当たる。
- ◎：文久3(1863)年、**緒方洪庵**が江戸で死去(享年53歳)。
- ◎：明治1(1868)年、適塾閉鎖。
- ◎：昭和17(1942)年、緒方家より適塾建物が、大阪帝国大学に寄贈される。
- ◎：現適塾は、大阪大学が管理す。



適塾



適塾二階

**入門学生**：記録のある「門下生姓名録」では、636名の入門年・出身地が記され、青森と沖縄を除き北海道から鹿児島までの全国から入門しており、氏名記録のない者、短期で辞めた者を含めると3,000名に達すと伝えられる。

**勉強**：オランダ語蔵書の解説で、塾に一冊しかない写本の蘭語日本語辞書「ゾーフ」の筆写、オランダ語の書籍、医学蔵書を解説、講義、考試が行われる。

**蘭和辞書「ゾーフ」**：ドゥーフ・ハルマ(Doeff-Halma Dictionary)：

通布事典・長崎出島のオランダ商館長**ヘンドリック・ドゥーフ**(Hendrik Doeff)が私的に作成、幕府要請で長崎通詞11名が編纂に参加、天保4(1833)年完成、約50,000語収録、全58巻、複製は幕府が写本のみで33部を作成、極めて貴重であった。



適塾所蔵ゾーフ辞書

**主な門下生**：

**池田謙斎**：東京帝国大学初代医学部総理。

**石田英吉**：海援隊隊士、貴族院議員、男爵。

**大村益次郎**：近代陸軍創始者、兵部大輔。

**佐野常民**：日本赤十字社初代総裁、伯爵。

**手塚良仙**：医師、漫画家手塚治虫の曾祖父。

**橋本左内**：越前福井藩士、安政の大獄で刑死。

**花房義質**：日本赤十字社社長、男爵。

**石阪惟寛**：陸軍軍医総監。

**大鳥圭介**：旧幕臣、学習院院長、駐清公使。

**久坂玄機**：長州久坂玄瑞の兄、塾頭。

**高峰讓吉**：胃腸薬タカジアスターゼ製造。

**長与専斎**：内務省初代衛生局長。

**福沢諭吉**：豊前中津藩士、慶応義塾創立者。



池田謙斎



石阪惟寛



石田英吉



大鳥圭介



大村益次郎



久坂玄機



佐野常民



高峰讓吉



手塚良仙



長与専斎



橋本左内



福沢諭吉



花房義質

**その後**：

◎：明治2(1869)年、大坂東成郡東高津村八丁目寺町(現天王寺区上本町4丁目)の大福寺に**浪華仮病院**、**仮医学校**が設立、半年後、東成郡鈴木町(現中央区法円坂2丁目)に移転す。

◎：浪華仮病院、仮医学校は、現在の**大阪大学医学部**、及び、**大阪大学医学部附属病院**となる。



No.238 : はなしのトリビア

No.238 : 2022/03/28 B コース(コロナPC中止)

★トリビア (英 trivia、「つまらない何の役にも立たない雑知識」の意)

★PC同好会の都度折々につまらないネタをご提供 (ネタのない時はパスします) ご提供: 北村

兵庫と神戸



◎ミナト街神戸の、兵庫と神戸の由来と関係の「兵庫と神戸」を探訪します。

★バックナンバー (発行記録) (バックナンバー再発行ご希望の方は北村にお申し出ください)

- 2012年度: No.1: (でんでら唄) No.2: (フルベッキ写真) No.3: (平安京境界図) No.4: (外国地名漢字表記)  
 No.5: (苗字ルーツ) No.6: (和製漢語) No.7: (五畿七道) No.8: (皇室旗軍旗軍艦旗) No.9: (難解姓氏) No.10: (日本の仏教宗派)  
 No.11: (陸軍部隊) No.12: (海峡の国際法) No.13: (海軍艦隊) No.14: (鉄道唱歌東海道) No.15: (たこ焼き) No.16: (阪急電車)  
 2013年度: No.17: (アホ・バカ) No.18: (エスカレーター) No.19: (江戸八百八町) No.20: (浪速八百八橋) No.21: (陸軍墓地)  
 No.22: (大阪の電車) No.23: (お好み焼き) No.24: (鉄道の広軌と狭軌) No.25: (中華料理) No.26: (旧暦と新暦) No.27: (落語家)  
 No.28: (プロ野球球団) No.29: (仏像の色々) No.30: (交通通行の左右) No.31: (50~60周波数) No.32: (日本の神様) No.33: (元号)  
 No.34: (ホルモン・ドテ) No.35: (天皇・皇帝・王) No.36: (歌舞伎の系譜) No.37: (日本のビール) No.38: (映画の歴史)  
 No.39: (県名の由来) No.40: (日本酒) 2014年度: No.41: (陶器と磁器) No.42: (三百諸藩) No.43: (焼酎) No.44: (国鉄の本線名)  
 No.45: (ユニオンジャック) No.46: (ワイン) No.47: (日本刀) No.48: (世界三大宗教) No.49: (路面電車) No.50: (日本の洋食)  
 No.51: (諜報) No.52: (関東と関西) No.53: (米海兵隊) No.54: (支那の語源) No.55: (薩摩と長州) No.56: (共産主義) No.57: (ノルマンディ)  
 No.58: (龍馬暗殺) No.59: (憲法制定) No.60: (朝鮮半島半島分断) No.61: (源氏と平家) No.62: (スパイ・ゾルゲ)  
 No.63: (世界の酒) No.64: (東大と京大)  
 2015年度: No.65: (花押) No.66: (西郷隆盛の顔) No.67: (歴史上の国旗) No.68: (おでん) No.69: (幕末の開港) No.70: (寿司)  
 No.71: (ゼロ戦と新幹線) No.72: (醤油) No.73: (東京お台場) No.74: (天ぷら) No.75: (元寇) No.76: (参謀本部と軍令部)  
 No.77: (蒸気機関車) No.78: (日本の城) No.79: (満洲) No.80: (町奉行) No.81: (本能寺の変) No.82: (旧国名の由来)  
 No.83: (軍用機艦標) No.84: (日本の貨幣の歴史) No.85: (朝鮮半島) No.86: (シベリア出兵) No.87: (大坂の陣400年)  
 No.88: (お雑煮)  
 2016年度: No.89: (オレンジ計画) No.90: (すき焼き) No.91: (スエズ・パナマ) No.92: (焼き鳥) No.93: (台湾) No.94: (うなぎ)  
 No.95: (太平洋戦争の呼称) No.96: (お茶) No.97: (アングロサクソン) No.98: (コーヒー) No.99: (祇園山笠) No.100: (二十四  
 節気) No.101: (海軍乙事件) No.102: (昆布と鰹) No.103: (神戸事件と堺事件) No.104: (居酒屋) No.105: (北海道分割計画)  
 No.106: (井) No.107: (陸士と海兵) No.108: (日本の伝統色) No.109: (地下鉄) No.110: (早稲田と慶応) No.111: (幻の大坂  
 遷都) No.112: (琉球・沖縄)  
 2017年度: No.113: (プロ野球のサイン) No.114: (ふぐ料理) No.115: (暗号) No.116: (肉じゃが) No.117: (右前と左前)  
 No.118: (神戸と横浜) No.119: (航空母艦) No.120: (新梅田食道街) No.121: (憲兵) No.122: (欧州アジア系の国) No.123: (忍者)  
 No.124: (千島と樺太) No.125: (靖国神社) No.126: (地理上のインドの地名) No.127: (潜水艦) No.128: (うどんとそば)  
 No.129: (盧溝橋事件) No.130: (朝鮮と焼肉) No.131: (日清戦争) No.132: (鍋料理) No.133: (日本列島の地政学)  
 No.134: (干支と十干十二支) No.135: (日露戦争) No.136: (戒厳令)  
 2018年度: No.137: (漢字) No.138: (ラーメン) No.139: (戦国大名) No.140: (二・二六事件) No.141: (摂政と関白) No.142: (満  
 洲事変) No.143: (洛中洛外) No.144: (ロシア革命) No.145: (守護と地頭) No.146: (鳥羽伏見の戦い) No.147: (戊辰戦争)  
 No.148: (日本の財閥) No.149: (室町の文化) No.150: (マンホール蓋) No.151: (西南戦争) No.152: (ナンバープレート)  
 No.153: (日本と日の丸) No.154: (餃子と焼売) No.155: (曜日の由来) No.156: (文字の縦書き横書き) No.157: (和菓子)  
 No.158: (〇〇の守) No.159: (尼崎電話局番06) No.160: (食品サンプル)  
 2019年度: No.161: (大使館と領事館) No.162: (九州) No.163: (尊王と佐幕) No.164: (銃と砲) No.165: (戦国の旗指物)  
 No.166: (左翼と右翼) No.167: (日本の伝統文様) No.168: (カレー) No.169: (日本の甲冑) No.170: (阪急電車II) No.171: (中国  
 共産党) No.172: (家紋) No.173: (関東軍) No.174: (牛肉と豚肉) No.175: (水引) No.176: (シベリア抑留) No.177: (新撰組)  
 No.178: (キタとミナミ) No.179: (船名と艦名) No.180: (倭寇) No.181: (軍艦敵傍消失事件) No.182: (六道珍皇寺)  
 No.183(東京駅の成立) No.184 (チャップリン暗殺計画)  
 2020年度: No.185: (新幹線ドクターイエロー) No.186: (大化の改新) No.187: (上戸と下戸) No.188: (三重県は何地方)  
 No.189: (梅田歩道橋と浅草雷門) No.190: (壬申の乱) No.191: (大阪環状線) No.192: (灘と伏見) No.193: (ブルートレイン)  
 No.194: (水軍) No.195: (天王寺七坂) No.196: (東京裁判) No.197: (日本の頑固) No.198: (金と銀) No.199: (ハル・ノート)  
 No.200: (天王山と関ヶ原) No.201: (日本四分割統治計画) No.202: (スパイス) No.203: (ものの始まり何でも堺)  
 No.204: (城の石垣) No.205: (徳利と盃) No.206: (チーズ) No.207: (ゼロの発見) No.208: (ネクタイ)  
 2021年度: No.209: (年度の始まり) No.210: (東京大阪京都嫌い) No.211: (琵琶湖疏水) No.212: (大阪とソース) No.213: (大日本ドケチ教)  
 No.214: (切りガラス) No.215: (ノモンハン事件) No.216: (仏教の語源) No.217: (南京攻略戦) No.218: (SP) No.219: (真珠湾攻撃)  
 No.220: (物の教え方) No.221: (ミッドウェー海戦) No.222: (平将門と神田明神) No.223: (ガダルカナル攻防戦) No.224: (孝明天皇毒殺説?)  
 No.225: (インパール作戦) No.226: (芸者と芸妓と舞妓) No.227: (沖縄地上戦) No.228: (幕末の金銀流失) No.229: (本土空爆と原爆投下)  
 No.230: (明治ゲルマン紙幣) No.231: (北海道の開拓) No.232: (アメリカ合衆国の成り立ち)  
 2022年度: No.233: (日本の人口の時代推移) No.234: (北大路魯山人) No.235: (一休さん) No.236: (古地図と武鑑) No.237: (適塾)

(裏面あり)

**兵庫**：(古代の畿内防衛拠点の兵器庫(兵庫=武庫)が設置された由来の名称)。

**兵庫の名の由来**：畿内防衛の兵器庫(兵器を格納する倉庫の兵庫(つわものぐら)が設置された故。

◎：大化1(645)年、大化の改新で摂津国と播磨国の境の須磨関を守るため、現兵庫区周辺に兵器庫「兵庫」が設けられる。

**摂津と播磨の境**：現神戸市須磨区=摂津国(東：畿内)と垂水区=播磨国(西：畿内の外)が境で都の周辺地域を五畿内と称し、朝鮮半島に通ずる瀬戸内海を含め、防衛上も最重要地域である。



**畿内とは**：皇居のある都(飛鳥宮・平城京・平安京)に近い地域の呼称で、山城・摂津・河内・大和・和泉の五ヶ国(五畿内)を指す。

**兵庫の成り立ち**：

◎：奈良期、僧行基により摂播五泊(室生泊=御津町・韓泊=姫路的形・魚住泊=明石大久保・大輪田泊=兵庫区・河尻泊=尼崎)のひとつ大輪田泊が築かれる。

◎：平安期、平清盛が大輪田泊を改修、経が島を造成、福原京を造営して宋貿易を行なう。

◎：以降、兵庫湊(大輪田泊)として、北前船(大坂～兵庫～瀬戸内海～日本海～蝦夷(北海道)や瀬戸内航路の重要な泊地として、兵庫(神戸の原形)が栄える。

**神戸の成り立ち**：

**神戸の名の由来**：現中央区三宮元町一帯は、生田神社(神功皇后1(201)年創建)の社領の神封戸(じんぶど：神社に寄進された土地)で、古くから、神地神戸(かんべ)・神戸(こうべ)と称された故。

**兵庫開港**：嘉永6(1853)年、ペリー来航、嘉永7(1854)年、日米和親条約で下田・箱館(函館)二港開港、安政5(1858)年、日米修好通商条約で神奈川(下田閉鎖)・長崎・新潟・兵庫(全五港)を開港。

◎：幕府は外国人を極力遠ざけるため、神奈川(東海道神奈川宿)と離れた当時寒村の横浜村(村落100軒弱)を神奈川と称して開港したのと同じく、兵庫も大輪田泊の東、寒村の神戸村を兵庫と称して開港、神戸は兵庫の中心ではなかった(No.69(幕末の開港)ご参照)。

◎：その後、幕末明治初期、外国人居留地、貿易港として栄え、西の兵庫を凌いで発展す。

**湊川流路の改修**：

**湊川**：平安期以来、湊川は現湊川公園を経て現新開地方向へ流れ、天井川で堤防が高く、兵庫地区と神戸地区の交通往来をささげ、長年、度々の洪水被害をもたらしていた。

**湊川の流路改修**：明治34(1901)年、湊川の流路付替え工事が完成、会下山をくり抜いた湊川隧道を西南へ流れ荻藻川に合流する新湊川が誕生す。



湊川旧流路



新流路



隧道出口

**湊川新開地の出現と兵庫神戸東西地区の交通往来**：

**新開地**：流路付替えに伴い、旧湊川の天井河川の高い堤防(最高8m)は削られ、湊川新開地と呼ばれる映画館や芝居小屋が集中する一大繁華街となる。

**東西交通の発展**：高い堤防が削られ、平地となった新開地の東西は、兵庫地区と神戸地区の車馬や人の往来が容易となり相互に発展してゆく。

**神戸市電の登場**：明治43(1910)年、神戸電気鉄道(後神戸市電)が、春日野道～楠公前～新開地～兵庫駅前間開業、兵庫・神戸の一体化が更に進む。



新開地



**湊川と並ぶ大和川・淀川の大規模河川流路改修**：

**大和川の改修**：生駒山系を抜けた大和川は、石川と合流して北流し、上町台 緑色の神戸市電地の北で旧淀川(大川)と合流、途中、多くの細支流が生じ河内平野に数々の水害をもたらしてきたが、宝永1(1704)年、幕府の改修工事で現大和川(現大阪市～堺市境界)に付け替えられた。

**淀川の改修**：明治43(1910)年、大川(堂島川・土佐堀川)に流れていた本流を、中津川流路を開削して現在の淀川(新淀川)とした(No.20(浪速八百八橋)ご参照)。



★ トリビア (英 trivia、「つまらない何の役にもたない雑知識」の意)

★ PC 同好会の都度折々につまらないネタをご提供 (ネタのない時はパスします) ご提供: 北村

江戸府内と関八州



◎ 当時、世界で最大都市と云われた江戸とその周辺の諸国「江戸府内と関八州」を見てみます。

★バックナンバー (発行記録) (バックナンバー再発行ご希望の方は北村にお申し出ください)

- 2012年度 No.1: (でんでら唄) No.2: (フルベッキ写真) No.3: (平安京結界図) No.4: (外国地名漢字表記) No.5: (苗字ルーツ) No.6: (和製漢語) No.7: (五畿七道) No.8: (皇室旗軍旗艦旗) No.9: (難解姓氏) No.10: (日本の仏教宗派) No.11: (陸軍部隊) No.12: (海峡の国際法) No.13: (海軍艦隊) No.14: (鉄道唱歌東海道) No.15: (たこ焼き) No.16: (阪急電車) No.17: (アホ・バカ) No.18: (エスカレーター) No.19: (江戸八百八町) No.20: (浪速八百八橋) No.21: (陸軍墓地) No.22: (大阪の電車) No.23: (お好み焼き) No.24: (鉄道の広軌と狭軌) No.25: (中華料理) No.26: (旧暦と新暦) No.27: (落語家) No.28: (プロ野球球団) No.29: (仏像の色々) No.30: (交通通行の左右) No.31: (50~60周波数) No.32: (日本の神様) No.33: (元号) No.34: (ホルモン・ドテ) No.35: (天皇・皇帝・王) No.36: (歌舞伎の系譜) No.37: (日本のビール) No.38: (映画の歴史) No.39: (県名の由来) No.40: (日本酒) No.41: (陶器と磁器) No.42: (三百諸藩) No.43: (焼酎) No.44: (国鉄の本線名) No.45: (ユニオンジャック) No.46: (ワイン) No.47: (日本刀) No.48: (世界三大宗教) No.49: (路面電車) No.50: (日本の洋食) No.51: (諜報) No.52: (関東と関西) No.53: (米海兵隊) No.54: (支那の語源) No.55: (薩摩と長州) No.56: (共産主義) No.57: (ノルマンディ) No.58: (龍馬暗殺) No.59: (憲法制定) No.60: (朝鮮島半島分断) No.61: (源氏と平家) No.62: (スパイ・ゾルゲ) No.63: (世界の酒) No.64: (東大と京大) No.65: (花押) No.66: (西郷隆盛の顔) No.67: (歴史上の国旗) No.68: (おでん) No.69: (幕末の開港) No.70: (寿司) No.71: (ゼロ戦と新幹線) No.72: (醤油) No.73: (東京お台場) No.74: (天ぷら) No.75: (元寇) No.76: (参謀本部と軍令部) No.77: (蒸気機関車) No.78: (日本の城) No.79: (満洲) No.80: (町奉行) No.81: (本能寺の変) No.82: (旧国名の由来) No.83: (軍用機国籍標示) No.84: (日本の貨幣の歴史) No.85: (朝鮮半島) No.86: (シベリア出兵) No.87: (大坂の陣 400年) No.88: (お雑煮) No.89: (オレンジ計画) No.90: (すき焼き) No.91: (スエズ・パナマ) No.92: (焼き鳥) No.93: (台湾) No.94: (うなぎ) No.95: (太平洋戦争の呼称) No.96: (お茶) No.97: (アングロサクソン) No.98: (コーヒー) No.99: (祇園山笠) No.100: (二十四節気) No.101: (海軍乙事件) No.102: (昆布と鰹) No.103: (神戸事件と堺事件) No.104: (居酒屋) No.105: (北海道分割計画) No.106: (井) No.107: (陸士と海兵) No.108: (日本の伝統色) No.109: (地下鉄) No.110: (早稲田と慶応) No.111: (幻の大坂遷都) No.112: (琉球・沖縄) No.113: (プロ野球のサイン) No.114: (ふぐ料理) No.115: (暗号) No.116: (肉じゃが) No.117: (右前と左前) No.118: (神戸と横浜) No.119: (航空母艦) No.120: (新梅田食道街) No.121: (憲兵) No.122: (欧州アジア系の国) No.123: (忍者) No.124: (千島と樺太) No.125: (靖国神社) No.126: (地理上のインドの地名) No.127: (潜水艦) No.128: (うどんとそば) No.129: (盧溝橋事件) No.130: (朝鮮と焼肉) No.131: (日清戦争) No.132: (鍋料理) No.133: (日本列島の地政学) No.134: (千支と十千十二支) No.135: (日露戦争) No.136: (戒厳令) No.137: (漢字) No.138: (ラーメン) No.139: (戦国大名) No.140: (二・二六事件) No.141: (摂政と関白) No.142: (満洲事変) No.143: (洛中洛外) No.144: (ロシア革命) No.145: (守護と地頭) No.146: (鳥羽伏見の戦い) No.147: (戊辰戦争) No.148: (日本の財閥) No.149: (室町の文化) No.150: (マンホール蓋) No.151: (西南戦争) No.152: (ナンバープレート) No.153: (日本と日の丸) No.154: (餃子と焼売) No.155: (曜日由来) No.156: (文字の縦書き横書き) No.157: (和菓子) No.158: (〇〇の守) No.159: (尼崎電話局番 06) No.160: (食品サンプル) No.161: (大使館と領事館) No.162: (九州) No.163: (尊王と佐幕) No.164: (銃と砲) No.165: (戦国の旗指物) No.166: (左翼と右翼) No.167: (日本の伝統文様) No.168: (カレー) No.169: (日本の甲冑) No.170: (阪急電車II) No.171: (中国共産党) No.172: (家紋) No.173: (関東軍) No.174: (牛肉と豚肉) No.175: (水引) No.176: (シベリア抑留) No.177: (新撰組) No.178: (キタとミナミ) No.179: (船名と艦名) No.180: (倭寇) No.181: (軍艦沈没消失事件) No.182: (六道珍皇寺) No.183 (東京駅の成立) No.184 (チャップリン暗殺計画) No.185: (新幹線ドクターイエロー) No.186: (大化の改新) No.187: (上戸と下戸) No.188: (三重県は何地方) No.189: (梅田歩道橋と浅草雷門) No.190: (壬申の乱) No.191: (大阪環状線) No.192: (灘と伏見) No.193: (ブルートレイン) No.194: (水軍) No.195: (天王寺七坂) No.196: (東京裁判) No.197: (日本の頑固) No.198: (金と銀) No.199: (ハル・ノート) No.200: (天王山と関ヶ原) No.201: (日本四分割統治計画) No.202: (スパイス) No.203: (ものの始まり何でも堺) No.204: (城の石垣) No.205: (徳利と盃) No.206: (チーズ) No.207: (ゼロの発見) No.208: (ネクタイ) No.209: (年度の始まり) No.210: (東京大阪京都嫌い) No.211: (琵琶湖疏水) No.212: (大阪とソース) No.213: (大日本どこチ教) No.214: (切子ガラス) No.215: (ノモンハン事件) No.216: (仏教の語源) No.217: (南京攻略戦) No.218: (SP) No.219: (真珠湾攻撃) No.220: (物の教え方) No.221: (ミッドウェイ海戦) No.222: (平将門と神田明神) No.223: (ガダルカナル攻防戦) No.224: (孝明天皇毒殺説?) No.225: (インパール作戦) No.226: (芸者と芸妓と舞妓) No.227: (沖縄地上戦) No.228: (幕末の金銀流失) No.229: (本土空爆と原爆投下) No.230: (明治ゲルマン紙幣) No.231: (北海道の開拓) No.232: (アメリカ合衆国の成り立ち) No.233: (日本の人口の時代推移) No.234: (北大路魯山人) No.235: (一休さん) No.236: (古地図と武鑑) No.237: (適塾) No.238: (兵庫と神戸)

(裏面あり)

### 江戸の成り立ち

**江戸の地名と成立**：江＝川、入江、戸＝人口、を意味し、徳川家康の入部以前は日比谷周辺まで湾海水が入り込み、湿地帯で人口の少ない寒村であった。

◎：平安後期、武蔵秩父党の江戸重継が桜田台(後の江戸城)に居を構える。

◎：室町期、関東管領(室町幕府関東総監)扇谷上杉家武将大田資長(道灌)が、江戸氏居館跡に江戸城(砦)を築く、後、小田原城の北条氏政(後北条氏)の支配が及ぶ。

◎：天正18(1590)年、豊臣秀吉が徳川家康(三河・遠江・駿河・信濃・甲斐五カ国領有)に関東移封(武蔵・伊豆・相模・上野・下野半国・上総・下総六カ国半領有)を命じ、家康が江戸城に入部し江戸の開拓が始まる(「家康公関東お討入り」)。

**江戸府内**：(No.19(大江戸八百八町)ご参照)。

**朱引と墨引**：幕府は、拡大してゆく江戸の範囲を明確に示すため地図上に江戸城を中心に『朱線』(「朱引(しゅびき)」)で囲んで江戸市中の範囲を定め、御府内(朱引内)とし、別途『黒線』(「墨引(すみびき)」)を引き、町奉行支配の範囲とした。

**府内の管轄**：朱引内の大名地・武家地管轄は勘定奉行(実質治外法権)、寺社地は寺社奉行、墨引内の町人地は町奉行の支配となる(No.80(町奉行)ご参照)。



江戸府内朱引墨引図

**朱引外は関東郡代**：朱引の外の幕府直轄地は、幕府の関東郡代(関東代官)の支配地となり、伊奈氏(幕臣旗本)が世襲、寛政4(1792)年、伊奈氏改易後は幕府旗本が任命され、関東郡代(関東代官)は幕府直轄地の行政・裁判・年貢徴収・警察権を有した。

**関八州**：(No.42(三百諸藩)ご参照)。

**関八州とは**：江戸期、関東地方を構成した、武蔵国(東京都・埼玉県)・相模国(神奈川県)・上総国(千葉県南部)・下総国(千葉県北部)・安房国(千葉県最南端部)・上野国(群馬県)・下野国(栃木県)・常陸国(茨城県)の八カ国を指す。



関八州

**関八州の統治**：江戸期、関東八カ国は幕府おひざもとの故、大名(1万石以上領地(藩))は少なく、御三家・譜代大名・幕臣旗本(1万石未満)知行地(旗本領地)・私領・飛び地・寺社領・幕府直轄地(天領)などが各地に散在した。

**関八州の大名領(藩)**：赤＝御三家・茶＝御家門(徳川支流の大名)・青＝譜代・黒＝外様。

**武蔵**：岡部落、久喜藩、忍藩、岩槻藩、川越藩、六浦藩、

**相模**：小田原藩、荻野山中藩、

**上総**：五井藩、鶴牧藩、請西藩、飯野藩、一宮藩、佐貫藩、久留里藩、大多喜藩、

**下総**：古河藩、結城藩、関宿藩、高岡藩、小見川藩、佐倉藩、多古藩、生実藩、

**安房**：勝山藩、館山藩、北条藩、

**上野**：館林藩、伊勢崎藩、前橋藩、高崎藩、沼田藩、吉井藩、安中藩、七日市藩、小幡藩、

**下野**：大田原藩、黒羽藩、烏山藩、宇都宮藩、壬生藩、佐野藩、吹上藩、足利藩、

**常陸**：水戸藩、笠間藩、下館藩、下妻藩、石岡藩、土浦藩、麻生藩、谷田部藩、牛久藩、

**関八州取締出役**：幕府勘定奉行支配下で、俗に「八州取締役」・「八州廻り」と称す。

**関八州の治安**：江戸後期になると、関八州は無宿人・浪人・博徒などが増加、治安が悪化する。

**関八州取締出役の役目**：関八州の幕府直轄地(天領)・私領の区別なく巡回して、治安維持・犯罪取締り・風俗取締りを行なう(但し御三家の水戸家領は管轄外)。

**関八州取締出役の身分**：関八州取締出役は、代官所(幕府直轄地の役所)の足軽身分の手代(代官の下役、別名手付、地方(じかた)に精通した町人・百姓などから採用され幕府勘定方の許可を要した)が任命され、配下に村々の目明しが付けられ、また、下層身分にも関わらず権勢を誇り、本来上級武士にしか許されない駕籠を乗り廻し大勢の従者を引き連れ、各地村々を廻ったので、恐れられもして弊害も多く、諸藩・寺社領の反発もあった。